

採 択 理 由

採択地区名【尾張東部】

種 目 名	道 徳	採択替えの有無	有 ・ ④無
発 行 者 名	光村図書	従来の発行者名	光村図書

1 学習指導要領との関連

- 読み物教材だけでなく、日常場面や児童の経験などをもとに道徳的価値について話し合うことができる教材も取り扱われており、児童の意欲・関心を高め、主体的にかつより深く考えられるよう工夫されている。

2 「あいちの教育の基本理念」との関連

- 「いじめ問題」「情報モラル」「環境」「共生」のような現代的な課題には、教材とコラムで構成されたユニットで学べるようになっており、複数時間かけて児童がじっくりと考えられるようになっている。また、これらを学年ごとに系統立てて学べるように編集されている。

3 内容

(1) 内容の選択

1年を通して様々な切り口の教材に出会えるようになっており、教材の配列に対するきめ細かな配慮がされている。特に「いじめ問題」への対応については、いじめのユニットだけでなく、「個性の伸長」や「生命の尊厳」の観点などからもいじめを許さない心を育むことができるよう教材が選択されている。各校のカリキュラムに応じて、アレンジすることも可能である。

(2) 内容の程度

巻頭や巻末に学び方や話し合いのこつなどが示され、学びの土台がつかれるように配慮されている。話し合いを通して多様な価値観に触れ、多面的・多角的な見方や考え方ができるようになっている。また、各学年、第2時限目の教材において、「道徳の学び方」の流れがわかりやすく例示されており、児童が主体的に教材と向き合い、学習を深めていくことができるような工夫がされている。

(3) 内容の構成

児童から考えを引き出して深めていく様々な手立てを「考えるヒント」のページで示している。3～6年生においては、教材の特性や発達段階に応じて「思考ツール」が紹介されており、児童にとって学びを深めていくための助けとなる。巻末には1時間ごとに振り返りを記録する「学びの記録」があり、学年に応じた振り返り方ができるように配慮されている。

4 表記・表現及び使用上の便宜等

- どの教材も1時間の学びの構成が捉えやすくなっており、児童が見通しをもって学ぶことができる。定番教材をはじめ、各教材の挿絵やイラストの画風が温かく親しみやすい印象を受ける。

5 印刷・造本等

- B5変型判を採用しており、机上で収まりのよいサイズである。文字の書体やイラストの色などにおいても、ユニバーサルデザインかつ健康や環境面への配慮がされており、読みやすく使いやすい教科書である。